

# 全管連ニュース

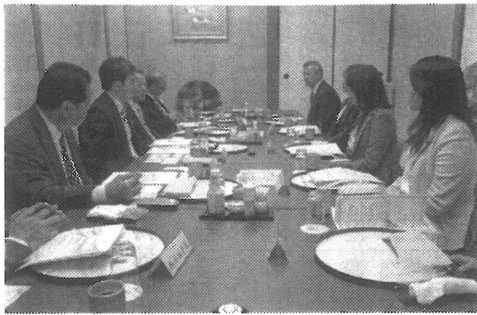
## 管工事業界の女性定着に向けて

### 田畑裕明衆議院議員との

### 座談会を実施

—男女問わず誰もが働きやすい業界を目指して—

全管連



(写真前列右から時計回りに) 藤川会長、田畑衆議院議員、藤原理事・広報部長、神谷氏、小野氏、田母神氏

全管連は四月十三日、自由民主党水道事業促進議員連盟所属で同党厚生労働部会長の田畑裕明衆議院議員をお招きし、女性活躍に関する座談会「管工事業界の女性定着に向けて」を実施した。

本座談会は、管工事業界で働く女性達が、会社・社会で活躍していくための

のマイノリティや、お互いの頑張り姿、苦悩なども含めて本音で語り合い、建設業において女性が活躍しやすい環境を作るため

に何が重要で必要なのか探求を通じて、男女問わず誰もが働きやすい業界の構築を目指すことを目的に実施された。

管工事業界で働く女性代表として、全管連青年部協議会の田母神友梨事業副部長(東京都連・(株)上杉設備専務取締役)、神谷晴江監事(同・神谷設備工業(株)代表取締役)、(株)小泉中央

城東営業所の小野仁美氏の三名が出席。

全管連からは、藤川幸造会長、藤原和彦理事・広報部長、粕谷明博専務理事が出席した。

働き方改革が政府の主要施策とされている中、働き方改革実現会議の検討テーマである「労働時間」「休日確保」「若者・女性が働きやすい環境整備」等を柱に、意見を交わした。三名の女性たちは今後のキャリア形成の悩み、考えなどを吐露。

田畑議員は冒頭、「建設業が将来も役割を果たすためには、女性の皆さんに安心して働いてもらうことが重要だ」と述べ、現場での実情に沿った取組を進める考えを示した。

参加した三名の女性からは、「待たなし」で迫っている建設業の時間外労働の上限規制を引き合いに、「休みが取りにくい、残業が多い、会社のパパ育休の事例がない」など、職場の無理解やこれまでの慣習にしばられ、子育てや家族との時間を持つむずかしさが報告され、多様な働き方を選択できる「働き方の見直し」を求める声がある等、熱のこもった座談会となった。この様子は、全管連ジャーナル七月号で掲載予定。